

【評価の内訳】

協働事業の評価	評価数
当該協働事業を実施したことで、具体的に市民サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものである。	8
ほぼ適切な協働事業として評価できるものである。	0
協働事業として、うまく機能しなかった。	0

【事業に関する意見】

1	関係部署との連携も取れており、2回の講座の出席者も多くアンケートの結果からも事業として評価できる。 ・聴くだけの講座だけでなくロールプレイング等の授業は良いと思います。 ・現在何らかのボランティアを行っている方々が多く参加されているようで、参加者の意識は高いのだと思います ・あとはもう少し若い世代の方と男性の参加者を増やすこと、受講した方がそれを活かせる場所(事業)を作ることが出来れば更に良いと思います
2	傾聴の養成研修事業はロールプレーもあり実践的で良かったと思います。コミュニケーション方法を学ぶことで高齢者への傾聴につながります。また、民生委員やケアマネジャー等の参加者のスキルアップに繋がり高齢者の対応にも役立つと思います。傾聴養成事業に参加した民生委員、ケアマネジャーにとって、スキルアップに役立ち、地域の高齢者に対する対応に大いに役立つと思います。なお、傾聴ボランティアをされる方が増えることで、孤独感や孤立感から解放された高齢者が増え、人とのつながりを楽しいと感じる高齢者が増えることを願います。養成講座では、もう少し時間厳守した方が良いと思います。
3	大いに評価する。次年度、次々年度も引続き、傾聴ボランティアの研修事業を積極的に展開するとあり、感謝する。第2回のタイムオーバーは感心できない。10数年前から高齢者問題が言われております。全世界的に生活環境を大きく変えてしまったのがコロナ禍です。人には極力会わない、人とは極力会話を避ける。マスクを着用し顔を見せない外出は極力しない等高齢者問わず全年齢者に言える時代となり、あと数年生き生きしていくことはあまり期待できないが財政の問題そしてだれもが感じていることと思うが、（いつでも、どこでもスマホ利用の悪影響である）このような世の中であり、傾聴ボランティア研修事業に期待する。
4	コロナ禍以降、人間関係の希薄さに拍車がかかっている様子を仕事の中で感じていました。本事業を通じてコミュニケーションの大切さや傾聴スキルをもった市民が増えることで徐々にではありますが、地域課題の解決に向けた一石を投じることとなったのではないかと感じます。傾聴ボランティア養成講座のタイトルにおいても一定のハードル（何かボランティアをしなくてはいけないのか等）があったのではないかと感じましたが、にも関わらず多くの市民が参加したことに、ニーズの高さが伺えます。 意見としては、傾聴スキルを持つ市民を増やすことと、現に対人援助に関わっている市民のスキルを底上げすることの二つのコンセプトを分けて講座を開催しても良いのかなと感じました。個人的には前者の傾聴スキルを持つ市民を多く増やす講座を回数重ね、翌年度にそのスキルアップを実施するなど期間を置いて開催することで、参加者が私生活の中で実践した内容を振り返ることもでき充実するのではないかなと感じました。
5	参加者の意見も高評価のものが多く、有意義な時間だったことが分かる。先生の話が分かりやすかった声やおもしろおかしく話が聞けたというコメントを見ると、講師の方の技量が高いのだろうと感じた。
6	私自身1人住まいの高齢者となり人とのふれあい、つながりを切実に感じるようになりました。幸い、商売をしているので、まだ人と接する機会はありますが。
7	傾聴ボランティア養成研修事業を通じて、高齢者の社会的脆弱性（ソーシャルフレイル）に関心を持ち、問題解決につなげることはとっても意味があると感じました。高齢者のみならず、様々な年齢層で社会的脆弱性が高くなることが考えられることから、当事業の研修会などによる市民サービス向上への寄与を期待している。
8	予想以上の参加者と満足度から適切に協働した結果だと思われる。すでにボランティア活動されている方の参加が多く、この分野の注目度が推察される。引き続き広げてほしいと思う。